

I 第7週の発生動向 (2013/2/11~2013/2/17)

1. インフルエンザについては、患者報告数は減少しましたが、むつ、上十三保健所管内では第3週から、八戸保健所管内では第5週から**警報**が、東地方+青森市保健所管内では第3週から、弘前、五所川原保健所管内では第4週から、**注意報**が継続しています。(詳細については、**V県内インフルエンザ情報**をご覧ください)
2. 感染性胃腸炎については、患者報告数 187 人で前週より減少しましたが、依然として報告は続いています。

II 第7週五類感染症定点把握

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県感染症発生動向調査 TOP ページをご覧ください。

疾患名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 (前週対比)	東地方(再掲)		青森市(再掲)	
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		数	人/定点	数	人/定点
小児科 +内科 (85) インフルエンザ	177	13.6	155	10.3	227	16.2	117	16.7	180	20.0	96	16.0	952	14.9	-725	12	12.0	165	13.8
(74) RSウイルス感染症	1	0.1	2	0.2	2	0.2	2	0.4					7	0.2	0			1	0.1
(75) 咽頭結膜熱	2	0.3	3	0.3	2	0.2							7	0.2	-1			2	0.3
(76) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	16	2.0	18	2.0	4	0.4	2	0.4	16	2.7			56	1.4	15			16	2.0
(77) 感染性胃腸炎	56	7.0	21	2.3	18	2.0	17	3.4	34	5.7	41	10.3	187	4.6	-55			56	7.0
(78) 水痘	9	1.1	6	0.7	7	0.8	2	0.4					24	0.6	-10			9	1.1
(79) 手足口病					1	0.1							1	0.0	0				
(80) 伝染性紅斑															-2				
(81) 突発性発しん	5	0.6	4	0.4	1	0.1	1	0.2	2	0.3			13	0.3	1			5	0.6
(82) 百日咳															0				
(83) ヘルパンギーナ															0				
(84) 流行性耳下腺炎	2	0.3	2	0.2					1	0.2	1	0.3	6	0.1	-2			2	0.3
眼科 (86) 急性出血性結膜炎															0				
(87) 流行性角結膜炎	1	0.5			1	0.5	1	1.0					3	0.3	-4			1	0.5
基幹 (92) クラミジア肺炎															0				
(93) 細菌性髄膜炎															0				
(95) マイコプラズマ肺炎					6	6.0					1	1.0	7	1.2	0				
(96) 無菌性髄膜炎															0				

は警報 は注意報。「空欄」: 患者発生無し。

III 全数把握疾患 (掲載数は最新情報)

(9) 結核(二類全数把握疾患): 青森市1人、弘前1人、八戸1人、五所川原1人、上十三1人 (2013年計:47人)

IV 病原体検出情報

() 内は、検査材料及び検体採取日、患者数です。

- ・上気道炎患者1名 (鼻汁、12/7)・・・**ライノウイルス (HRV)**: 弘前 (1)
- ・下気道炎患者17名 (鼻汁、咽頭ぬぐい液、11/7~12/13)・・・**RSウイルス**: 弘前 (13)、八戸 (1)、むつ (1)、**RSウイルス**及び**マイコプラズマ**: 弘前 (1)、**HRV**及び**マイコプラズマ**: 八戸 (1)
- ・急性脳症患者1名 (鼻汁、11/12)・・・**HRV**: 弘前 (1)



インフルエンザ (五類定点把握疾患)

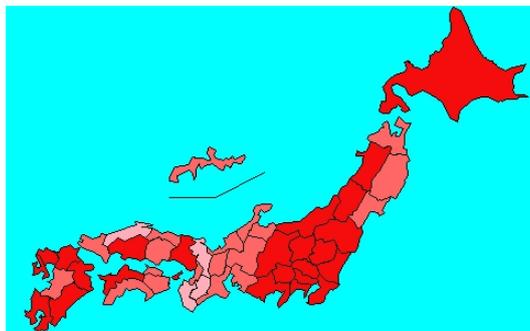


図 全国の流行レベルマップ (2013年 第6週)

全国のインフルエンザの定点当たり報告数は、第4週をピークとして2週連続で減少していますが、依然として警報・注意報が発令されています(図)。

県内では、第5週以降患者報告数は減少していますが、第7週においても全域で警報・注意報が発令されています。

2012年第36週以降の国内のインフルエンザウイルスは、AH3亜型(A香港型)が大半を占め45都道府県から、AH1pdm09が20都道府県から検出が報告されています。B型はビクトリア系統株が13府県から、山形系統株が17府県から報告されています。

県内では、1月に弘前市、八戸市、むつ市の患者から採取された検体からAH3亜型が検出されています。

引き続き、ていねいな手洗いの励行、マスク着用などの咳エチケットを守り、予防対策をすることが重要です。

V 県内インフルエンザ情報

第6週の患者報告数は、952人で、迅速診断キットによる型別はA型926人、B型8人、不明18人でした。

警報レベル開始基準値：30人/定点、警報終息基準値：10人/定点、注意報基準値：10人/定点

(※ 警報注意報基準値は保健所ごとの定点あたり報告数が基準となっています。)

保健所管内別届出人数

(人)

週	48	49	50	51	52	1	2	3	4	5	6	7
東地方						6	3	18	15	22	14	12
弘前					9	12	59	111	273	369	272	155
八戸		6	1	10	16	29	118	256	401	451	318	227
五所川原			2		3	6	18	67	162	192	208	117
上十三			3	1	3	13	92	304	530	565	372	180
むつ					4	10	55	234	375	263	206	96
青森市		1		2	4	20	100	166	227	300	287	165
合計		7	6	13	39	96	445	1156	1983	2162	1677	952

A型（迅速診断キットによる型別です）

週	48	49	50	51	52	1	2	3	4	5	6	7
東地方						6	3	18	15	22	14	12
弘前					9	11	58	111	273	367	272	153
八戸		6	1	9	16	28	118	254	373	429	302	221
五所川原			2		3	5	18	67	162	192	208	117
上十三			3	1	3	13	89	282	502	548	359	170
むつ					4	10	55	234	375	263	206	96
青森市				1	3	19	94	157	211	283	254	157
合計		6	6	11	38	92	435	1123	1911	2104	1615	926

B型（迅速診断キットによる型別です）

週	48	49	50	51	52	1	2	3	4	5	6	7
東地方												
弘前						1	1			1		2
八戸									1		1	
五所川原						1						
上十三							1		3	1		
むつ												
青森市		1		1	1		1	2	8	7	24	6
合計		1		1	1	2	3	2	12	9	25	8

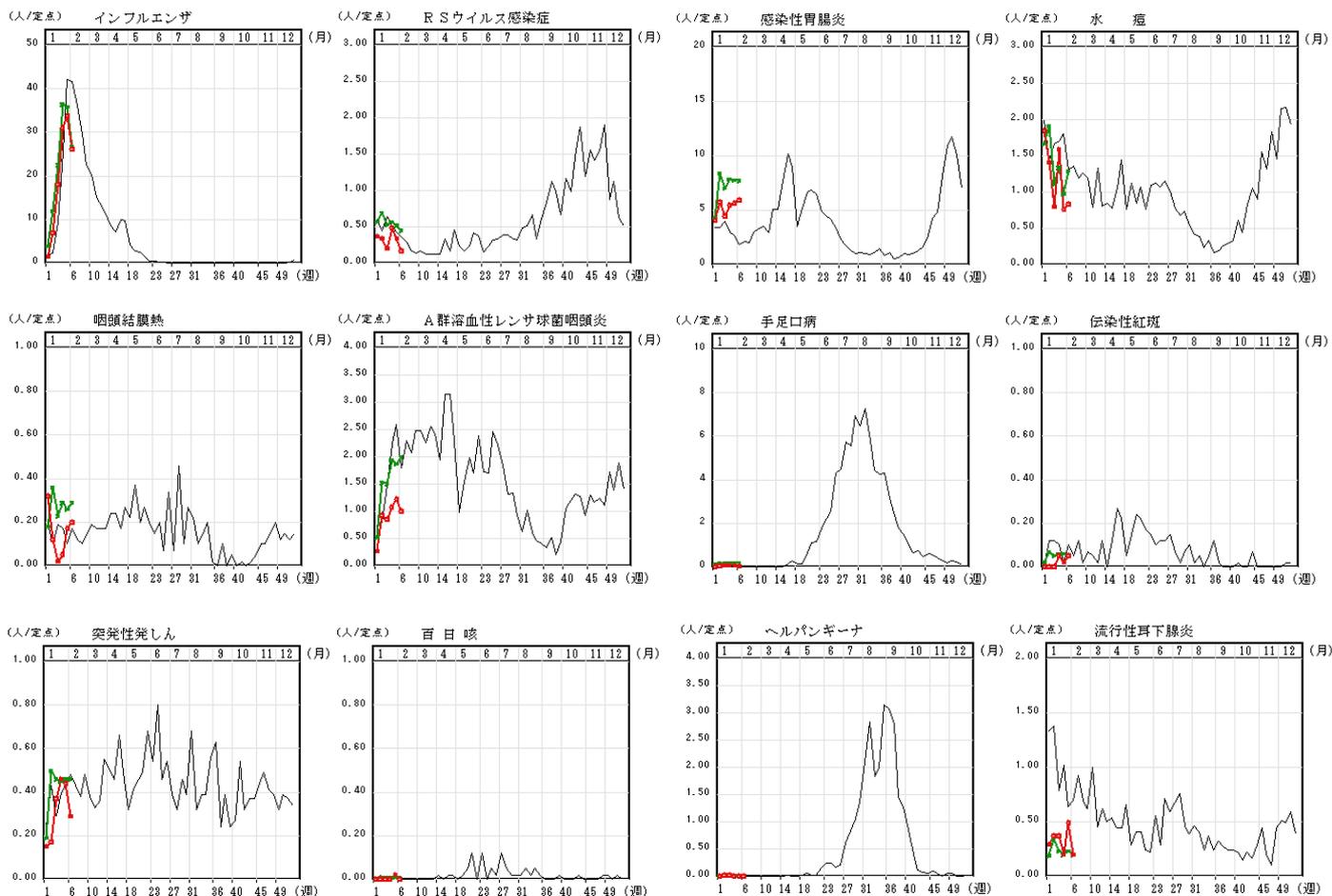
年齢区分別

週	48	49	50	51	52	1	2	3	4	5	6	7
～5ヶ月						1	2	4	12	8	11	2
～11ヶ月					1		5	13	16	26	27	14
1歳			1	4	1	4	16	36	66	71	74	65
2歳				1	6	1	24	51	76	65	59	47
3歳				1	1	1	11	41	69	82	76	57
4歳		3		1	1		22	45	84	98	114	43
5歳				1			26	45	89	95	79	27
6歳						5	26	40	71	98	59	34
7歳						1	8	31	77	71	50	38
8歳						1	8	27	54	75	47	42
9歳						1	5	36	84	66	58	25
10～14歳		2	1	2	1	4	22	183	441	371	249	96
15～19歳					4	7	27	60	144	163	102	44
20～29歳				2	9	30	56	97	94	134	94	56
30～39歳		2	2		6	16	51	116	162	212	125	87
40～49歳			2			11	44	83	132	155	124	70
50～59歳					1	8	35	92	121	140	114	64
60～69歳					3	1	18	69	85	101	85	55
70～79歳					4	4	25	43	62	61	59	43
80歳以上				1	1		14	44	44	70	71	43

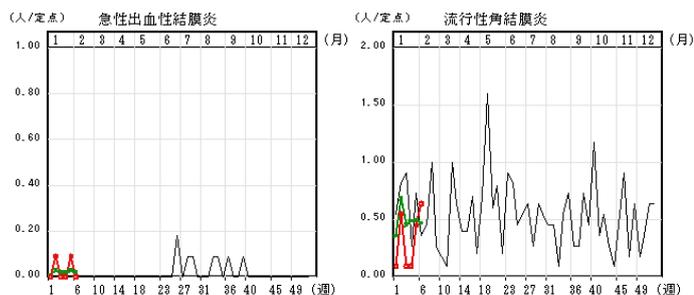
IX インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移

2013年第6週

グラフの説明 ○—○は2013年青森県、—は2012年青森県、×—×は2013年全国



X 眼科定点把握疾患週別推移 2013年第6週



XI 基幹定点把握疾患週別推移 2013年第6週

